

# 文章入力スピード認定試験（日本語）・（英語）実施要項

本認定試験は、正確かつ迅速なキーボード入力技能の向上を図ることを目的として実施する。

## ■ 文章入力スピード認定試験実施概要 ■

1. 実 施 日 7月第2日曜日 10月第2日曜日 12月第2日曜日 2月第4日曜日  
★試験会場校からの届出により前後10日間の移動が可能です。
2. 試 験 会 場 本協会指定会場（申し込みのあった各大学、各学校および教室が試験会場校となります。ただし、原則として受験者が10名以上であることを要します）
3. 受 験 資 格 制限ありません。
4. 試 験 形 式 実技試験  
本協会が配布するブラウザベースアプリを使用（使用機種は問いません）
5. 受験申込方法 試験会場校は、申込受付期間中に受験人数をとりまとめ、受験申込締切日までに本協会ホームページよりお申し込みください。なお、本協会指定の受験申込書に記入のうえ、各本部あてにFAXでの申し込みも可能です。
6. 受験料支払方法 受験料は、本協会発送の「請求書兼払込取扱票」が届き次第、その払込取扱票を使用し、お支払いください。
7. 合格者の発表 結果の発表は、試験会場校より直接受験者に発表してください。  
なお、受験者からの試験の可否および成績についてのお問い合わせは、受け付けておりません。
8. そ の 他 1) 答案の公開・返却はいたしません。  
2) 認定証書は、試験会場校を通じて交付してください。  
3) 認定証書の再発行はいたしません。ただし申請により認定証明書の発行をいたします。  
4) 受験者などの個人情報の取り扱いにはご注意ください。

## 受験者への注意事項

※事前に受験者へお知らせください

1. 指定された時刻までに試験会場に入場していること。
2. 持参する物 ① 受験票 ② 身分証明書 ③ 筆記用具
3. 試験会場においてはすべて試験監督の指示に従うこと。
4. 試験会場において不正行為を行った場合は退場とし、試験は認定対象外とする。
5. 試験中に機器のトラブルが発生したときは速やかに手を挙げ、試験監督の指示を仰ぐこと。

## 実施方法・試験の注意

### 事前準備

試験で使用する機器の点検を行ってください。

### 試験時間前

- ①アプリの立ち上げを指示してください。
- ②受験番号・受験者名を入力させてください。
- ③練習問題を使用して3分程度の指ならしおよび機器の点検を実施させてください。
- ④指ならしで入力した内容を削除させてください。
- ⑤問題用紙を配布（閉じたまま表紙を上）し、『始め』の号令がかかるまでは問題を見ないように指示してください。

### 試験時間

（日本語・英語：10分）

- ※機器にトラブルが発生した場合は受験者に不平等が生じないように対応してください。
- ①試験時間はタイマーを使い、正確に計測し、『始め』・『やめ』等の号令は大きな声で行い、節度ある試験にしてください。
  - ②『始め』の号令で試験を開始します。  
注）「8分経過、残り時間2分」と必ず受験者に伝えてください。
  - ③『やめ』の号令でキーボード・マウスから手を離させ、問題用紙を閉じて表紙を上らせてください。

### 試験時間後（ファイルの保存）

- ①問題用紙を回収してください。
- ②解答ファイルの保存を指示してください。（保存は受験者自身が行う）
- ③解答ファイルを回収してください。
- ④受験者が使用したパソコンに試験内容が残らないようにしてください。

### 試験実施後

- ①回収した解答ファイルをフォルダーにまとめ、圧縮してください。
- ②採点は保存されたデータにより本協会が行います。以下のものをお送りください。
  - ・結果保存されたデータ
  - ・受験者名簿ファイル

★結果データは、返却いたしません。

★本協会での採点后、結果通知書および認定証書を試験会場校へ送付いたします。

（認定証書の日付は、本協会の規定実施日として発行いたします）

★採点について不明な点は統括本部までお問い合わせください。 Tel (052) 936-3817

## ■ 文章入力スピード認定試験規則 ■

- 第1条 本協会は、学生、生徒ならびに卒業生、その他に対して日本語入力技能・英語入力技能を認定する。
- 第2条 認定する段・級は、特段・初段・1級・準1級・2級・準2級・3級・4級・5級・6級の10種とする。
- 第3条 認定試験は、年4回実施する。
- 第4条 認定試験は、実技試験とする。
- 第5条 認定試験は、「文章入力スピード認定試験基準」により実施する。
- 第6条 認定基準に沿って認定証書を授与する。
- なお、認定証書の再発行は行わない。（再発行は認定証明書とする）
- 附 則 この試験規則は、令和3年4月1日より施行する。

## ■ 文章入力スピード認定施行細則 ■

- 第1条 受験希望者は、所定の受験申込書に必要事項を記入のうえ、受験料を添えて期日までに試験会場校に提出しなければならない。
- 第2条 受験料は、次のように定める。（税込み）
- 【一般受験料】  
1科目 1,200円
- 【特定受験料】  
1科目 1,000円
- 第3条 受験票は、試験会場に持参しなければならない。
- 第4条 試験会場では、試験監督の指示に従わなければならない。
- 附 則 この施行細則は、令和3年4月1日より施行する。

# ■ 文章入力スピード認定試験基準 ■

## ■日本語

1. 内 容 試験時間内に問題文どおりに入力する。
2. 試 験 時 間 10 分間
3. 認 定 基 準 試験時間内に入力した純字数により以下の段・級を認定する。
- |     |              |     |              |
|-----|--------------|-----|--------------|
| 特 段 | …2,000 文字 以上 | 初 段 | …1,500 文字 以上 |
| 1 級 | …1,000 文字 以上 | 準1級 | …800 文字 以上   |
| 2 級 | …600 文字 以上   | 準2級 | …450 文字 以上   |
| 3 級 | …350 文字 以上   | 4 級 | …250 文字 以上   |
| 5 級 | …100 文字 以上   | 6 級 | …50 文字 以上    |
4. 採 点 方 法 1ミスにつき1文字減とする。（各段・各級とも同じ）  
純字数＝総字数－ミス数

## ■英 語

1. 内 容 試験時間内に問題文どおりに（ストレートに）入力する。
2. 試 験 時 間 10 分間
3. 認 定 基 準 試験時間内に入力した純ストロークス（純字数）により以下の段・級を認定する。
- |     |                  |     |                  |
|-----|------------------|-----|------------------|
| 特 段 | …4,000 ストロークス 以上 | 初 段 | …3,000 ストロークス 以上 |
| 1 級 | …2,000 ストロークス 以上 | 準1級 | …1,600 ストロークス 以上 |
| 2 級 | …1,200 ストロークス 以上 | 準2級 | …900 ストロークス 以上   |
| 3 級 | …700 ストロークス 以上   | 4 級 | …500 ストロークス 以上   |
| 5 級 | …200 ストロークス 以上   | 6 級 | …100 ストロークス 以上   |
4. 採 点 方 法 1ミスにつき2ストロークス減とする。（各段・各級とも同じ）  
純ストロークス＝総ストロークス－（ミス数×2）